

# キャリア通信

第8号 令和6年12月17日  
陽北中学校キャリア教育部  
進路指導主事 星野めぐみ



## 栃木県立高等学校について

今月号では、県立高等学校について紹介します。

現在県内には県立高等学校が60校あります。そのうち、宇都宮市内には10校あり、陽北中学校の近くにも宇都宮商業高等学校がある他、自転車で通学できる高等学校が数多くあります。

県立高等学校には普通科、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、福祉科、総合学科等様々な学科があり、それぞれの科の特色を生かして授業が展開されています。将来就きたい職業が決まっている人は、高校生から専門学科の授業を受け、就職に必要な資格を取るという進路も考えられます。

全校生徒のクラスルームに高等学校のホームページ、学科の紹介ページ等へのリンク先を掲載しますので、是非見てみてください。

県立高校を目指す中学生のみなさんへ

～ハイスクールガイド～

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m04/r03/r03highschoolguide.html>



## 県立高等学校入学者選抜について

県立高等学校（全日制）の入学者選抜方法には、特色選抜、一般選抜があります。現在の日程での県立入試は以前からお知らせしている通り、現中学2年生までとなります。現在の1年生からは、「新しい栃木県立高等学校入学者選抜制度」として日程が変更されますが、特色選抜、一般選抜の選抜方法は引き続き行われる予定です。

### 特色選抜

高等学校について自ら調べ、自分の進路について十分に考え、志望校を主体的に選択することをねらいとしています。各高等学校・学科（系・科）の定員の30%程度を上限として定めています。宇都宮東高等学校のように、定員から内部進学による入学内定者数を除いた定員の全部を上限とすることができます。この場合、宇都宮東校等学校は一般選抜を行わないということになります。

選抜の方法は、

○面接（個人面接、集団面接） 口頭試問を含む学校もあり

○作文、小論文、学校独自検査（学校作成問題、実技など）

### 一般選抜

全日制課程一般選抜では、国語・社会・数学・理科・英語の5教科の学力検査。一部の高等学校では面接・実技を実施します。（宇都宮市内では、宇都宮白楊高等学校で面接を実施しています。）

定時制課程一般選抜では、国語・社会・数学・理科・英語の5教科の学力検査を行います。全ての高等学校で面接を実施します。

通信制課程では、学力検査を行わず、面接を実施します。

定時制課程フレックス特別選抜（学悠館高等学校定時制課程で実施）

面接及び作文を実施します。

## 面接、作文・小論文について

進学や就職など進路に関わる試験で、面接、作文・小論文を重要視することが多くなっています。これは、ペーパーテストだけでは分からない志願者の個性、性格、人間性をつかむことができる入試の形式として有効と考えられているからです。

面接では、基本的なコミュニケーション能力が備わっているか、志願理由がはっきりしているか、進学先、就職先でやっていけるかどうかを見られています。試験間近になってあわてて準備をするのではなく、日頃の挨拶や会話から意識して生活したいものです。また、高校入試で入学願書と一緒に志願理由書を提出した場合、志願理由書の内容から出題されることが多い傾向です。自分が書いた内容をきちんと覚えておくことも必要です。

作文・小論文では、自分の気持ちや考えを順序立ててしっかりと伝える力が必要とされています。限られた文字数で自分の考えを表すのはなかなか難しいものです。授業の振り返りプリントなど皆さんはどのように書いていますか。入試に必要とされている力は、中学校生活の様々な場面で培われています。

